

2025年4月25日

株式会社イオン銀行  
イオンエンターテイメント株式会社

## イオン銀行とイオンエンターテイメントが特別支援学校の学生向けに、 卒業後の暮らしに役立つ校外学習を実施しました ～イオンモール春日部・イオンモール幕張新都心で金融授業や映画鑑賞を体験学習～

株式会社イオン銀行(代表取締役社長：木坂有朗、以下「イオン銀行」)とイオンエンターテイメント株式会社(代表取締役社長：藤原信幸、以下「イオンエンターテイメント」)は、埼玉県立春日部特別支援学校宮代分校および船橋市立船橋特別支援学校の高校生に対し、ショッピングセンター・映画館にて「卒業後の暮らしに役立つ」体験型金融授業と映画鑑賞の楽しさを体感いただく校外学習を実施いたしました。



イオンは、全国の障がい者の方々の社会活動への参加促進、障がい者福祉の向上を目的として、イオン社会福祉基金<sup>※</sup>を設立し、グループ各社はこの基金を活用した支援活動を行っております。  
<sup>※</sup> イオングループ労使双方がひとりあたり毎月50円ずつ(労使で月100円)を積み立て、従業員による障がい者施設へのボランティア活動やパラスポーツ推進を柱とした社会福祉活動を行うものです。

このたび、イオン社会福祉基金を活用し、特別支援学校2校の学生の皆さんの卒業後のキャリア支援のため、体験しながらお金について学ぶ機会と、映画鑑賞を通じて豊かな感性を育む機会の提供に向け、イオン銀行とイオンエンターテイメントが協働で校外学習を企画しました。

2024年12月にイオンモール春日部(埼玉県)、2025年3月にはイオンモール幕張新都心(千葉県)にて実施し、2校合わせて60人以上の高校生に参加いただきました。一つの建物内で安全に校外学習を実施できる利点を生かし、イオンモールのホールにおいて「卒業後の暮らしに役立つお金」をテーマに銀行の役割・預金サービスなどに関する金融授業を受講後、実際にATM操作やWAONカードへの現金チャージを体験いただきました。また、イオンシネマでは映画鑑賞とWAONカードでのキャッシュレス決済にチャレンジいただきました。

今回の取り組みを通じて、参加した学生の皆さんからは、「ATMや電子マネーを初めて使うことができた」「先生やクラスメートと一緒に映画を観られて嬉しかった」など、数多くのお声をいただくとともに、先生方からも、「社会人として必要となるお金の適切な扱いを改めて学習することができ、大変うれしい」「イオンモール内は、生徒の安全確保の点からも安心して校外学習が実施できた」といったお声をいただきました。

これからもイオン銀行とイオンエンターテイメントは、企業活動を通じて社会課題の解決に資する取組みを継続して行っていくとともに、イオングループ一体となって持続可能な社会の実現を目指し、積極的な支援活動を推進してまいります。

以上